

越前町議会・令和８年９月定例会一般質問【木村 繁議員】

(令和８年９月４日 午前１１時２０分 開始)

○１４番（木村 繁君） 議長のお許しを得ましたので、通告書に基づき一般質問をいたします。

初めに、学校プールの今後の在り方について、お伺いをいたします。

学校現場における夏の風物詩といえば水泳授業です。しかし、昨今は状況が変わってきています。また、プールの老朽化や教職員の負担軽減などを理由に民間のスイミングクラブへ事業を委託したり、水泳実技そのものを廃止したりする動きが広がっています。

スポーツ庁の調査によれば、小学校の屋外プール保有は２０１８年度には９４％でしたが、２０２１年度には８７％、２０２４年度には８３％となり、減少の一途をたどっています。その背景には、１９６０年代から１９８０年代に建設されたプールの老朽化があります。多くの施設が改修や建て替えの時期を迎えており、改修には数百万円から数千万円、建て替えには億単位の費用が必要となります。

また、維持管理にも多くの経費がかかります。学校施設には、体育館へのエアコン設置など、ほかにも優先すべき課題があり、限られた予算の中でプール整備を優先することが妥当か、多くの自治体が検討を進めています。

さらに天候不良による授業の中止、熱中症リスクの高まりなどにより、予定をしていた授業回数の確保が難しい状況もあります。また、水泳指導を行う教員全てが専門的な知識や技能を有しているわけではなく、指導方法の習得や安全管理に加え、プールの点検、水質管理、薬剤の投入なども担わなければならない、大きな負担となっております。万が一、事故が発生した際には管理責任も問われることもあります。

こうした中、学校プールでの実技を継続するか、見直すかについて、各自治体は地域の実情に合わせて民間スイミングスクールへの委託や公営プールの活用など、様々な対応を進めているようであります。

特に中学校では、県内の鯖江市が２０２３年度から県外では岩手県の滝沢市では２０２５年度から、水泳実技授業の廃止を決定するなど廃止をする自治体も増えております。一方、埼玉県北本市とお呼びすればいいんだと思うんですが、埼玉県北本市では２０２１年度から、中学校で２０２５年度から市内全小学校で民間委託を導入し、スイミングスクールの送迎バスを利用しながら専門インストラクターによる指導の下、水泳力の泳力の向上を図っているとのこと。

そこでお伺いをいたします。

本町における学校プールの現状と課題について、また民間委託の導入も含めた今後の学校プールの在り方について、教育長の所見をお聞かせください。

次に、休日部活動の地域移行と講師派遣についてお伺いをいたします。

お隣の鯖江市では、市内３中学校において、本年度から休日部活動の地域展開が完全実施となったようであります。その取組を後押しするため、一流の講師を派遣し、生徒を指導する地域クラブ支援事業を展開しております。本年度は、陸上競技と吹奏楽の２つの分野を対象としており、子どもたちの技術習得や意欲向上につなげるとともに、指導者の確保や指導力向上も目的としているそうです。

一流の講師が年間を通じて月１回程度、現地またはオンラインで指導に当たると

のことであります。この授業は、子どもたちが安心して部活動やクラブ活動に取り組める環境を整えるため、行政、地域、学校が一体となって進めているものであります。

そこでお伺いをいたします。

本町においても一流の講師、あるいはアスリート、あるいはアーティストの招聘について予算面も含め行政として取り組むお考えはないのか、また、今後の方向性について、町長の所見をお聞かせください。

○議長（藤野菊信君） 教育長。

○教育長（大川伸介君） それでは、ご質問にお答えします。

水泳学習は学習指導要領において、水に親しみながら基本的な技能の習得や仲間と協力して課題を育むものとされており、また、水の危険性を理解し、自らの安全を確保する命を守る教育としても重要であると認識をしております。

本町には、現在各小学校にプールが設置されており、小学校のみ水泳事業を実施しておりますが、議員ご指摘のとおり、老朽化に伴う修繕費や維持管理費の増加に加え、水質管理、施設点検、安全管理などに係る教職員の負担が課題となっております。また、近年の猛暑や天候不良により、授業を計画どおり実施することが難しい場合もございます。

こうした中、今年度から学校プールの維持管理に係る費用の抑制と教職員の負担軽減を図る目的で、プールの老朽化が著しい朝日小学校及び糸生小学校については、B & G 海洋センタープールを利用して水泳事業を実施しております。ご承知のとおり、同プールには昨年度エアコンを備えた救護室を設置しており、児童が体調不良となった際の対応や休憩場所として活用することができ、猛暑による影響を抑えながらより安全かつ計画的に授業を実施することができます。

今後は、朝日小学校及び糸生小学校における取組について授業の実施状況や教育効果、移動時間や教職員の負担軽減などを総合的に検証し、可能であれば他校にも拡充していきたいと考えております。

また、本町ではこれまでも各小学校に水泳インストラクターを招き、専門的な指導により、児童一人一人の泳力に応じた安全で効果的な授業を実施してまいりましたが、今年度からは各学校における全ての水泳授業にインストラクターを招き、教職員の指導面での負担軽減を図っております。

今後の学校プールの在り方につきましては、施設ごとの老朽化の状況や維持管理費に加え、それぞれの学校の立地条件などを踏まえて検討する必要があると考えております。

そうした中、民間委託の導入につきましては、本町からは移動に相当の時間を要し、授業時間の確保などに課題があることから、現状では難しいと考えております。まずは、昨年リニューアルしたB & G 海洋センタープールを最大限活用していきたいと考えております。

本町といたしましても、今後も学習指導要領に示された目標を踏まえ、児童が安全で質の高い水泳授業を受けられる環境の確保に努めてまいります。

以上でございます。

○議長（藤野菊信君） 町長。

○町長（高田浩樹君） それでは、木村議員のご質問にお答えいたします。

一流の講師やアスリートから直接指導を受けることは、子どもたちの技術力の意欲の向上に加え、夢や目標を持つきっかけになるなど、大変有意義であると認識しております。また、地域クラブの指導者に取りましても、専門的な知識や指導

方法を学ぶ機会となり、指導力の向上につながるものと考えております。

一方、継続的な講師派遣を実施するためには、講師の確保や謝礼、旅費などの財源に加え、対象となる競技や文化活動の選定、参加機会の公平性、学校及び地域クラブとの日程調整など様々な課題がございます。

本町におきましては、現在休日部活動の地域展開に向け、子どもたちが継続してスポーツや文化芸術活動に取り組むことができる受皿と指導者を確保することを優先して進めております。このため、現時点では一流の講師やアスリートを継続的に招聘する具体的な予定はございませんが、今後は地域クラブの移行や地域展開の進捗状況を踏まえ、子どもたちの活動の充実につながる取組について検討してまいります。

○議長（藤野菊信君） 木村 繁君。

○14番（木村 繁君） それぞれ的確なご答弁をいただきました。

まず最初の学校プールの在り方についてですけれども、先ほど教育長のご答弁にありましたとおり、今年度から朝日小学校、糸生小学校についてはB＆Gの海洋センターを活用しているということと、そしてもう一つ、これも今年度からは各学校における全ての水泳授業にインストラクターを招いているというご答弁でございました。

本当に的を射た施策だというふうに私は理解を申し上げますが、あとそのご答弁の中で、もし朝日小学校、糸生小学校のB＆Gの海洋センターの利活用について、検証し、検証した後、他校にも拡充していきたいと考えているというご答弁でございました。宮崎地区、織田地区、越前地区が今のところ他校になろうかと思いますが、この検証結果次第では何年ぐらい後に、例えば、宮崎であったり、織田であったり、越前地区であったりということを考えておられるのか。お答えできる範囲で教育長のご答弁をお願いをしたいというふうに思います。

それから、2番目の一流の講師の派遣については町長のほうからご答弁がありましたが、この一流の講師あるいはアーティスト、アーティストを招く招聘するという鯖江市の授業でございますけれども、今年の夏の甲子園を制した智弁和歌山高校、携帯で見たんですけれども、この高校何年か前にあのイチローさんが来校されているそうであります。

当然、智弁和歌山の優勝がこのイチローさんによつての優勝ということは言えないと思いますけれども、あの方がその高校に来て、技術指導あるいは発言力、言葉の力、あのイチローさんの発言、一言一言が、先ほど町長のご答弁にもありました高校球児、あるいは子どもたちの夢と希望の一因になるとしたら、予算面もあるというふうなことで、現時点では一流のアスリート、講師には考えていないということですが、当然、予算面で財源がかかることでございますけれども、そこら辺、町長、あんまり固とう考えんと、ぜひこういった形で子どもたちの夢と希望を叶えるためにも、こういったところにもぜひ予算面の目配り気配りをお願いしたいというふうに思いますので、この点について町長のお答えできる範囲でご答弁をいただきたいというふうに思いますので、教育長、町長、それぞれ一言最後のコメントをいただきたいというふうに思います。

○議長（藤野菊信君） 教育長。

○教育長（大川伸介君） それではお答えいたします。

B＆Gプールの活用につきましては、本年度の実績を踏まえまして、移動時間あるいは利用可能人数を総合的に検証しまして、現在、自校プールを利用して水泳授業を行っている他校への拡充を前向きに検討していきたいというふうに思っ

おります。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 町長。

○町長（高田浩樹君） 木村議員のご質問にお答えします。

継続的な派遣というのは難しい面もあるかと思いますが、今、木村議員がおっしゃったように、夢や希望という面におきまして、またこれからの目標という面におきまして、またそういった一流のスポーツ選手やまたアーティスト、そういった方々を招聘する機会というのをまた設けていきたいということは積極的に考えていきたいと思います。

以上でございます。

○議長（藤野菊信君） 木村 繁君。

○14番（木村 繁君） ありがとうございます。

それぞれ、前向きなご答弁をいただきました。感謝を申し上げまして、私の一般質問を終わります。

（午前11時44分 終了）